

平成29年度福岡県立地企業振興会 福岡部会

○日時 平成29年11月17日(金) 12:15~20:00

○行程 JR博多駅筑紫口観光バス駐車場出発(12:15)

→ 博多駅から宗像市まで移動

取り組みの経緯や文化的価値等

福岡県 世界遺産登録推進室解説

→ 「新原・奴山古墳群」視察(13:20)

現地ボランティア解説

→ 「海の駅むなかた館、宗像大社辺津宮」視察(14:10) 現地ボランティア解説

→ 「株式会社テムザック」視察(16:30)

→ 「ぶどうの樹 福津海岸通り店[ラ・パール2F]」にて交流会(18:00)

○概要

平成29年7月9日、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産への登録が決定された。

福岡県の施策として登録に取り組んでいた構成資産8資産のすべてが認められ、登録名称は「神宿る島 宗像・沖ノ島と関連遺産群」。これを機に県の施策として取り組んでいた内容の周知や福岡県の文化・歴史を紹介する為、日本の世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の視察をおこなった。

また、宗像市内(旧玄海町)に立地し、ロボットの開発・製造・販売をおこなう企業である株式会社テムザックで最新のロボット開発について視察をおこなった。

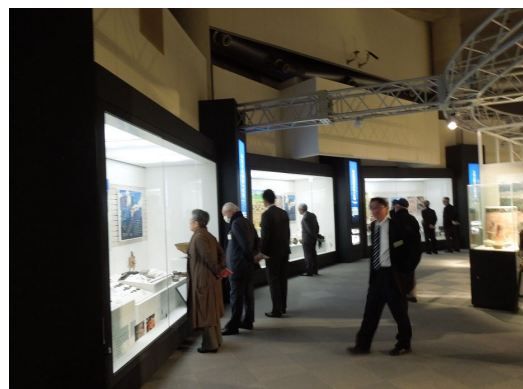
・新原・奴山古墳群 (福津市勝浦及び奴山)

新原・奴山古墳群は、海を越えた交流に従事し沖ノ島祭祀(さいし)を担った古代豪族である宗像氏が、5世紀から6世紀にかけて築いた古墳群で、かつての入海に面した台地上に、前方後円墳5基、円墳35基、方墳1基からなる計41基の古墳が良好な状態で残されている。「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」は独自の信仰や伝統を示している。新原・奴山古墳群が含まれる津屋崎古墳群の1基からは、沖ノ島で発掘されたものと同種の鏡が出土しておりまた、海を望む地形に造られた古墳群は宗像氏の墳墓と考えられ、宗像氏の存在を示す重要な証拠として位置づけられるものである。現地では、各古墳群について概要をボランティアガイドの説明を受けながら視察した。さらに古墳群周辺の土地の開発状況等説明を受けた。



・海の駅むなかた館、宗像大社辺津宮 (宗像市田島2331)

海の駅むなかた館では、「海の道」をテーマに、市内の遺跡から見つかった出土品をはじめ、「交易・交通・民衆の生活」に関して展示資料により玄界灘を縦横無尽に活躍した宗像人の足跡を見学し、通常、上陸できない「神宿る島」沖ノ島の神秘的な世界を3Dシアターで音と映像によりリアルな体験をした。



宗像大社は、天照大神の御子神として誕生した三柱の女神で、お名前を“田心姫神”（たごりひめのかみ）、“湍津姫神”（たぎつひめのかみ）、“市杵島姫神”（いちきしまひめのかみ）の三姉妹の神様です。三柱の姫神様を祀っている。三宮の総社である「辺津宮」は、三姫神のうち三女にあたる市杵島姫神（いちきしまひめのかみ）を主祭神とする。

大社では、ボランティアガイドによる補足説明をうけ要所をめぐり、普段と違う視点により大社を巡った。この日は、皇族である（三笠宮妃殿下）がご視察に参られ、お帰りの際に会員皆の前で一礼されるなど思いもよらぬうれしい機会に出会えた。

宗像大社の本殿脇の神宝館（神の島とも呼ばれる沖ノ島で行われた古代祭祀遺跡の発掘調査により発見された、4～10世紀頃のものと思われる12万点もの奉献品を収蔵・展示されている。）では神秘的はもとより歴史の重みを感じさせられた。



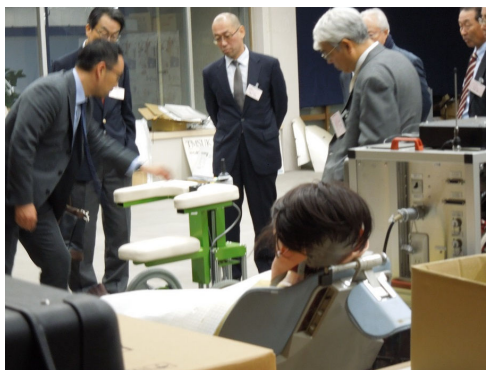
・株式会社テムザック（宗像市江口465番地）

福岡県宗像市に本社を構えるロボットの開発・製造・販売をおこなう企業である。“人とロボットの安全で快適な共存社会を創出する”趣旨のもとに2000年1月4日に設立された。警備・案内・家庭留守番・レスキューなど様々なタイプの人に役立つロボットの開発や製造を行っている。二足歩行ロボットも開発する。

PHS回線（携帯電話回線）を利用してロボット搭載 CCD カメラから映像を取得するとともにロボットをリアルタイム遠隔操作する技術はテムザック社の得意とする技術である。また多くの大学・企業・各種団体などと産学官共同開発を行っている状況であり、特に大学とのネットワーク（多様なネットワーク）を図って人に役立つロボット研究開発を行っている。

現在の状況、これから陽の目を見る最新型の既成概念にとらわれない新しい製品の開発経過、産学官共同事業等の説明など映像を含め概要説明を受けた。その後、開発研究室で実際のロボット等に触れ様々な意見交換がなされた。平成9年には福岡県中小企業新分野進出等円滑化法補助金事業の助成を受けて、国内では初のPHSによる遠隔操作を可能にした「テムザック3号」を開発した経緯がある。

今年度3月には、ドイツ・ハノーバーで行われたCebit(ITソリューションに関する国際展示会)では、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)に招聘され、世界に技術力の高さをアピールしている。



・交流会

「ぶどうの樹 福津海岸通り店 [ラ・パール2F]」(福津市に市福間4-10-10)

代表世話人である(株)五十二萬石本舗 森代表取締役社長の挨拶・乾杯発声で始まり、名刺交換等和やかに懇談が行われた。また、(株)五十二萬石本舗の商品である「筑紫もち」が40周年を迎えるにあたり取締役営業副本部長の森正俊氏より映像(DVD)等を介して歴史、開発、今後の進展についてPRがおこなわれた。最後に、同じく世話人である(株)富士通九州システムズ 松井代表取締役社長(代理で鶴川人事・総務本部長)の締めで散会した。(31名出席)

